

事務事業チェックシート

事務事業No
8426

事業名
し尿処理施設管理事業

[事業基本情報]

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	3	豊かな暮らしを支える住環境の整備
施策	4	生活排水対策の推進
取組方針	5	し尿及び浄化槽汚泥の適正処理

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計		一般会計	
	款		衛生費	
	項		清掃費	
	目		屎尿処理場費	
	大事業		屎尿処理事業	
中事業		し尿処理施設管理事業		

事業種別	継続		関連個別計画	
事業年度	無し	～	無し	
事業実施の根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律		関連課	
	担当課・担当課長・Tel	青岸清掃センター	奥口 隆也	428-4153

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要		
	汚泥再生処理センターを適切に管理運営し、収集されたし尿及び浄化槽汚泥を処理する。		市内全域から収集されたし尿及び浄化槽汚泥の全量を汚泥再生処理センターで適正に処理し、住民の生活環境の保全を図る。		
事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
	し尿処理量 166,457.8kl@汚泥再生処理センター建設工事(H28.6運転開始)@ (H29.3竣工)	し尿処理量 165,755.7kl@	収集されたし尿及び浄化槽汚泥を処理するためにかかる汚泥再生処理センター管理運営に要する経費。	収集されたし尿及び浄化槽汚泥を処理するためにかかる汚泥再生処理センター管理運営に要する経費。	収集されたし尿及び浄化槽汚泥を処理するためにかかる汚泥再生処理センター管理運営に要する経費。

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	1,272,988	1,051,204	174,954	134,785	166,339	145,113	162,149	0	162,149	0
伸び率(%)	△69.1%	△74.3%	△86.3%	△87.2%	△4.9%	7.7%	△2.5%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	58,021	42,920	43,071	41,635	41,719	43,477	35,805	0	35,805
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	58,021	42,920	43,071	41,635	41,719	43,477	35,805	0	35,805
国庫支出金	143,164	143,164	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	903,500	731,600	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	28,778	128	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源(税等)	197,546	176,312	174,954	134,785	166,339	145,113	162,149	0	162,149	0
所要人数(人)	正規職員	7.30	5.40	5.40	5.22	5.22	5.44	4.48	0.00	4.48
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	消耗品費69,255千円、光熱水費26,846千円、管理委託料64,825千円ほか									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
	和歌山市全域から投入されるし尿及び浄化槽汚泥の全量を適正に処理する	目標値	kl					
実績値			166458	165756	168192			
達成度(%)			%	%	%	%	%	
施設稼働率(施設稼働日数/年間日数)*100	目標値	%	100	100	100	100	100	
	実績値		100	100	100			
	達成度(%)		100%	100%	100%	%	%	
水質基準達成率(基準達成回数/実施回数)*100	目標値	%	100	100	100	100	100	
	実績値		100	100	100			
	達成度(%)		100%	100%	100%	%	%	
水質基準達成率(基準達成回数/実施回数)*100	目標値	%	100	100	100	100	100	
	実績値		100	100	100			
	達成度(%)		100%	100%	100%	%	%	

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	○ 緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる		あまりできない	○ できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	一般廃棄物の適正処理は地方自治体の自治事務であるため、計画どおり進める必要がある。
見直し・改善内容	今後も搬入されるし尿及び浄化槽汚泥の性状や量に対応しつつ、施設の維持管理に適切な措置を講ずるとともに、効率的な運営に努める。@